

取扱説明書

保存用

日立LED照明器具

HITACHI
Inspire the Next

LED光源ユニット器具本体

【ウォールウォッシャ形】型式：NC4D

日本国内用

適合LED光源ユニット

7,000lmタイプ	6,000lmタイプ	5,200lmタイプ	4,400lmタイプ	3,800lmタイプ	3,000lmタイプ	2,200lmタイプ
CET407*E-** CE4T07*G-**	CET406*E-** CET406*G-**	CET405*E-** CET405*G-**	CET404*E-**	CET403*E-**	CET403*F-**	CET402*E-**

*= D:昼光色、N:昼白色、W:白色、WW:温白色、L:電球色 **= N14A:固定出力形、X14A:連続調光・固定出力兼用形、C14A:無線調光制御形

- このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - 器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず有資格者に依頼し、内線規程に従ってください。
- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
ここに示した注意事項は、表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

工事店様へ この取扱説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

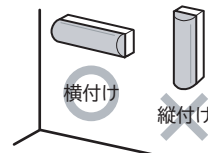
安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

- 取り付け工事は「器具本体の取り付けかた」に従い、確実に行う ※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 適合する日立製LED光源ユニット以外と組み合わせて使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 人が触れるおそれがある場所に取り付けて使用しない ※感電・やけどによるけがの原因となります。
- 天井・壁(横)直付け兼用器具です。壁(縦)取り付けや傾斜天井への取り付けはしない
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しない ※火災・感電の原因となります。
- 器具が破損した状態で使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を接続して使用する際は、端子台や漏電ブレーカーの定格容量を超えて使用しない ※火災・感電の原因となります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

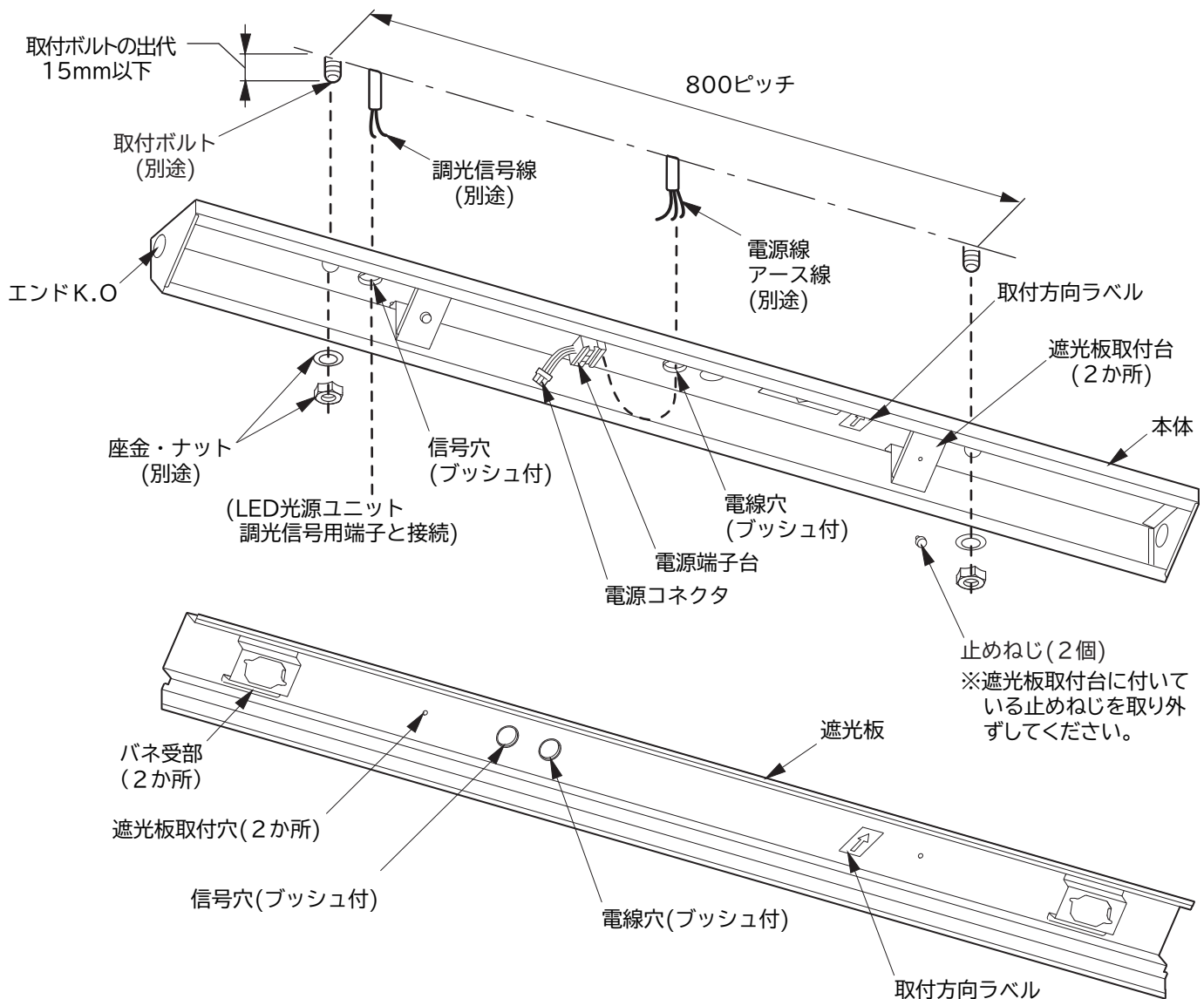
- 本器具は一般屋内用照明器具です。直射日光の当たる場所・湿気の多い場所・振動のある場所・雨の吹き込みを受ける場所・オイルミストや粉じんの発生する場所・腐食性ガスの発生する場所・風などが直接当たる場所では使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具に物をぶつかけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない
※器具の破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度は5～35℃以外では使用しない ※火災・不点灯・短寿命の原因となります。
- 器具を密集させて取り付けない ※過熱し、火災の原因となります。
- 送り配線は照明器具専用回路とし、組み合わせるLED光源ユニットの入力電流合計が電源端子台の定格容量20Aを超えて接続しない ※容量を超えると電源端子台が過熱し火災の原因となります。
- 器具内送り配線をする場合、以下のケーブル以外は使用しない ※火災・感電の原因となります。
(電源線・調光信号線の器具間送り配線は、エンドK.Oより器具内送り配線することもできますが、器具内のスペースが狭くなっていますので、天井裏で送り配線することを推奨します。)
◎電源線：600V ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EE) $\phi 1.6$ 、 $\phi 2.0$
[連続調光形のLED光源ユニットと組み合わせる調光機能を使用する場合]
◎調光信号線：耐燃性メタル通信ケーブル(EM-CPEE) $\phi 0.9$ 、 $\phi 1.2$

その他のご注意

- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしないでください。※故障の原因となります。
- 電源入力部に電源スイッチなどを設置する場合は、必ず活線側に電源スイッチなどを設置(両相とも活線の場合は両相に設置)してください。※早期故障・電源オフ時にLEDが微発光する原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、器具の接続台数に注意してください。
不要動作を防止するため、組み合わせるLED光源ユニットの最大接続台数までとしてください。
- 連続調光形で使用する場合は、当社専用信号線方式の制御装置以外と組み合わせて使用しないでください。
※動作不良・不点灯の原因となります。

各部の名前

※取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です



器具本体の取り付けかた

1 取り付け前に確認する

- 取付ボルトは、LED光源ユニットを足した器具質量(表1)に十分耐える強度のある天井面に設ける
※強度が不足していると、落下によるけがの原因となります。
- 取り付け寸法は、背面取付穴(図1)の取付ピッチを参照する
※取付ボルトはW3/8またはM10を使用してください。
木ねじは、丸木ねじの呼び径4.1以上を使用してください。
- 取付ボルトの出代は本体15~20mmにする
※取付ボルトが出過ぎると、LED光源ユニットが取り付けられなくなります。

2 器具本体を天井面に取り付ける

- 電源線・アース線を電源穴(ブッシュ付)から引き込んでおく
また、連続調光形で使用する場合は、調光信号線を信号穴(ブッシュ付)から引き込んでおく
- 本体を取付ボルトまたは、木ねじで確実に取り付ける
(取付ボルト推奨締付トルク値: $1.5\text{N}\cdot\text{m}$)
※不備があると、落下によるけがの原因となります。

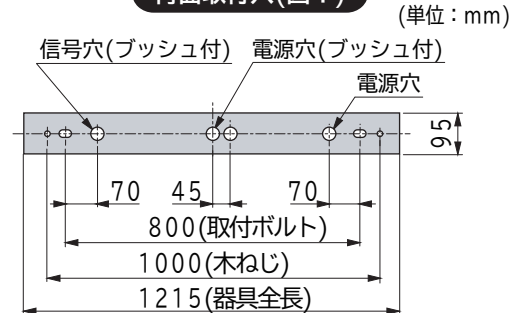
3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- 電源端子台の接続と解除(図2)を参照する
- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込む
※接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- 電源線・アース線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押して外す
- アース工事はD種接地工事を行う
※アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 接続後の余分な電源線・アース線は電源穴に戻し、電源端子台の接続部に張力が加わらないよう配線処理をする

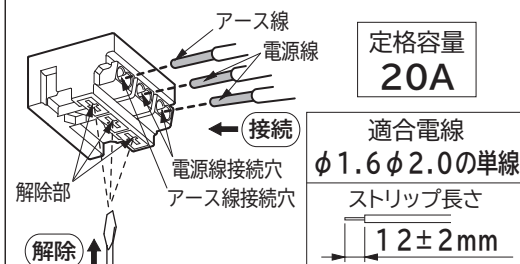
器具質量(表1)

型式	本体質量	光源質量	合計質量
NC4D	2.1 kg	1.1 kg	3.2 kg

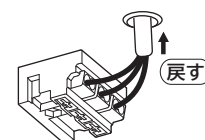
背面取付穴(図1)



電源端子台の接続と解除(図2)

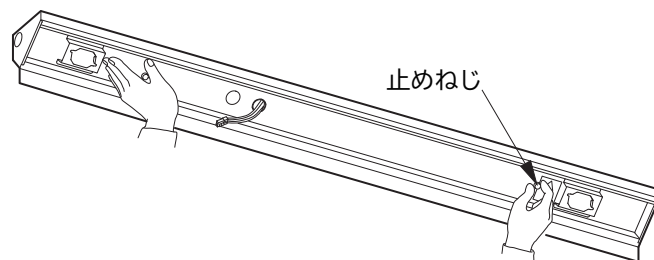
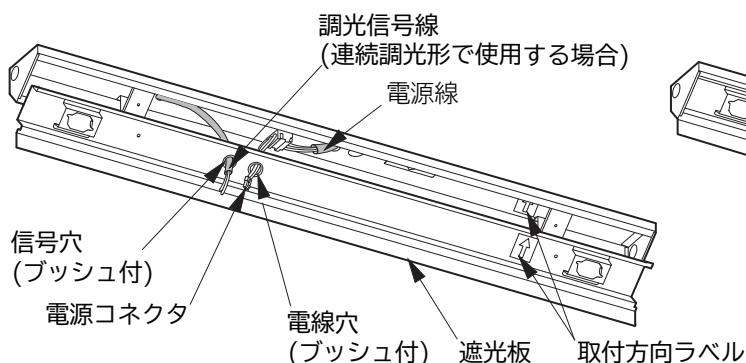


(注)
接続後の余分な電源線・アース線は電源穴に戻すこと。

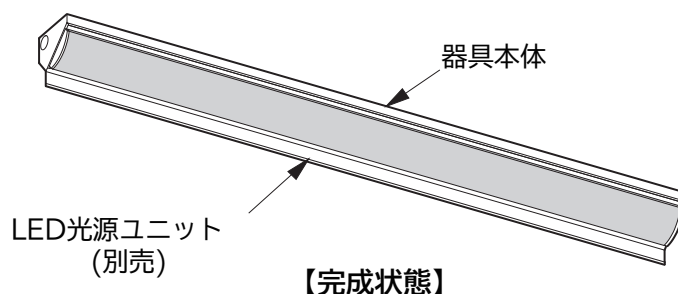


4 器具本体に遮光板を確実に取り付ける

- 遮光板には方向性があります。取付方向ラベルの矢印を合わせてください。
- 電源コネクタを電線穴(ブッシュ付)から引き込む。
- 連続調光形で使用する場合は、調光信号線を信号穴(ブッシュ付)から引き込む。
- 遮光板を止めねじで確実に取り付け



5 日立製LED光源ユニットの取扱説明書に従い、LED光源ユニットを取り付ける



お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)



禁止

- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんで拭いたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いはお避けください。
※割れ・傷・変色・サビの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れない ※やけどの原因となります。

保証とアフターサービス

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに、器具の型式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話 0120 - 335 - 762 受付時間：土日祝日を除く9:00 ~ 17:00

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12